

(参考資料②)

令和 5 年度 秋期特別展 基本計画書

種別	特別展	名称	名勝指定 100 周年記念・萩ジオパーク認定 5 周年記念 長門峡ー峡谷の美景ー	
会期	令和 5 年 10 月 7 日（土）～12 月 3 日（日）		実開催日数	57 日間（展示替え 1 日）
開催場所	萩博物館 企画展示室		担当者名	（主担当）平岡 崇 （副担当）川原康寛、松尾優平、 吉村星奈、道迫真吾
共催	萩市、萩市教育委員会、萩ジオパーク推進協 議会（調整中）		後援	山口県、山口県教育委員会ほ か（調整中）
基本方針	経緯と課題	歴史分野（秋期特別展）においては、人物や事柄へ焦点を当てること が求められる中で、観覧者ターゲットの獲得・拡大、展示と地域の連環、 地域の人々や学校との連携・協働が十分になされてこなかった。また、 国名勝指定 100 年、ジオパーク認定 5 周年を機に取り上げる「長門峡」 については、貴重な文化・自然遺産であるにもかかわらず、その認知度・ 注目度は決して高いものとは言えない。 ・特別展としての魅力度・注目度を高めることによる、アフターコロナ を見据えた観覧者層の獲得・拡大 ・ジオパーク推進課・まちじゅう博物館推進課・地域および学校など との連携による多角的な長門峡の魅力のアプローチ ・展示と地域、地域の人々、学校との橋渡し		
	テーマ	国名勝指定から 100 年、萩ジオパーク認定 5 周年を機に、萩の貴重な 自然・文化資源である「長門峡」をテーマに、観覧満足度の高い展示と 現地を結ぶ行事などにより、その魅力の再発見・共有と今後の利活用・ 継承をはかる。		
	ねらい①	館内外からの話題性のある資料を魅力的に展示し、支持層の獲得・拡大 につながる情報発信をする		
	ねらい②	探訪行事等を通じ、館と現地を結んで長門峡を楽しむ機会を創出する		
	ねらい③	川上・阿東地域の小中学校や公民館などの見学利用を促進し、地域資源 の魅力の普及をはかる		
目標	来場者数	7,500 人		
	ターゲット層	【年代】 10 代～70 代 【属性】 ・長門峡と関わりの深い地域住民（川上・阿東地域、萩・山口市民） ・文化・自然遺産（名勝）等に関心の高いアダルト・シニア層 【エリア】 山口県内（特に萩市、山口市）及び近県（福岡・広島など）		

	その他指標	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート回答率：総来場者数の 2%以上 ・観覧満足度（アンケートで展示に満足と回答の割合）：80%以上 ・期間内の小中学校や公民館等の利用：5 件以上
実施内容	概 要	<p>萩市と山口市に跨る長門峡は、令和 5 年に国名勝指定から 100 年を迎える。萩出身の画家・高島北海は「峡谷の美景としては此長門峡が日本第一であると私は絶叫します」と大絶賛し、美しい景観を数多く描き残している。また、北海は長門峡の自然環境を守る保護活動にも奔走した。本展では、100 年前から現在に受け継がれた長門峡の歴史と魅力を紹介すると共に、私達が長門峡からどのような恩恵を受けているのかを探るため、歴史・美術および自然などと様々なジャンルの資料を展示する。さらに、萩ジオパーク認定 5 周年を記念した展示ブースを設け、ジオパーク 5 年間のあゆみとこれからを紹介する。</p>
	① 主要展示資料	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代の長門峡を描いた絵図「長門峡探勝古図」（山口博物館） ・江戸時代の村落にあった長門峡の姿「地下上申絵図」（文書館） ・萩出身の画家・松林桂月が描いた大迫力の「長門峡」（山口博物館） ・中原中也が詠んだ長門峡の詩「冬の長門峡」（中原中也記念館）
	② 関連行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・展示会場において担当学芸員によるギャラリートークの後、専門家（山大元教授など）と共に長門峡を歩くツアー ・高島北海や松林桂月の描いた絵を見ながら長門峡を歩くツアー
	③ 広報宣伝・情報発信の手法	<ul style="list-style-type: none"> ・最有力手段であるポスター 300 枚・チラシ 30,000 枚の効果的な配布先を実行委員会のご協力を得て開拓 ・ウェブの広報力を高めるため、「見やすさ」を重視した HP デザインの洗練、旬の話題や関連情報の発信 ・情報の質を高く保ち、口コミの広がりを狙った週 1 回以上の SNS 発信
	④ 外部との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・長門峡での活動をおこなう萩ジオパーク推進協議会やNPOあとう等、本展のコア支持層となりうる団体に的確に情報を届け、行事開催のバックアップを得られる体制作りを模索
	⑤ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展のクオリティ向上を目指し、会期中の観覧料を特別料金化（常設展込みで現行 大人 520 円・高大生 320 円・小中生 100 円 → 大人 700 円・高大生 400 円・小中生 100 円） ・芸術文化振興基金による助成を申請済（内定通知：令和 5 年 3 月末）
事業スケジュール	<p>7 月中旬：事業者への参加表明の案内</p> <p>8 月上旬：展示制作・関連企画業務プロポーザル審査会</p> <p>8 月中旬：展示制作開始</p> <p>9 月中旬：広報宣伝開始</p> <p>10 月 7 日：開幕</p>	